

サイクルツーリズム推進に向けた施策（説明資料）

～アワイチ推進プログラム50～





基本方針

「ナショナルサイクルルート」の指定に向け、施策を推進

1. ナショナルサイクルルート制度について



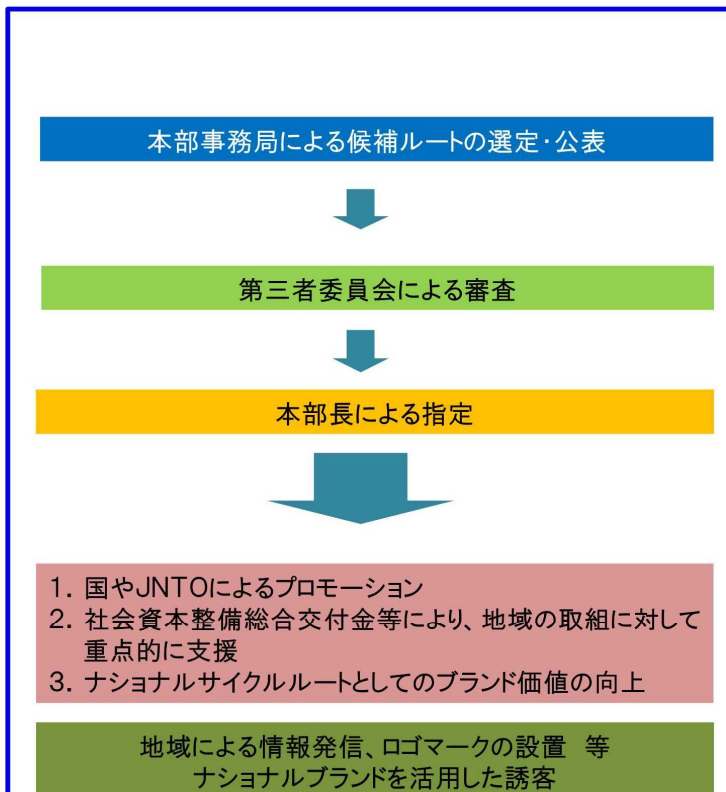
令和元年9月9日
自転車活用推進本部決定

- 優れた観光資源を有機的に連携したサイクルツーリズムの推進により、日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るために、一定の水準を満たすルートを対象として「ナショナルサイクルルート」に指定する。
- ルートにおける取組の継続性を評価する必要があることから、新たなルートの指定の有無の確認については、国の自転車活用推進計画期間内に1回とし、3～5年ごとに実施する。

■ ナショナルサイクルルートの指定要件

観点	指定要件
1. ルート設定	①サイクルツーリズムの推進に資する魅力ある安全なルートであること ・ルートの延長が概ね100km以上であること(島しょ部を除く) 他
2. 走行環境	①誰もが安全・快適に走行できる環境を備えていること ・欠羽根等により自転車通行空間が整備されていること 他 ②誰もが迷わず安心して走行できる環境を備えていること ・経路などの路面表示、案内看板が設置されていること 他 (単路部概ね5kmごと、すべての分岐部)
3. 受入環境	①多様な交通手段に対応したゲートウェイが整備されていること ・鉄道駅などに、レンタサイクルや着替え場所等が整備されていること 他 ②いつでも休憩できる環境を備えていること ・サイクルステーションがルート上に概ね20kmごとに整備されていること 他 ③ルート沿いに自転車を運搬しながら移動可能な環境を備えていること ④サイクリストが安心して宿泊可能な環境を備えていること ・ルート直近にサイクリスト向けの宿泊施設が概ね60kmごとにあること 他 ⑤地域の魅力を満喫でき、地域振興にも寄与する環境を備えていること ⑥自転車のトラブルに対応できる環境を備えていること ⑦緊急時のサポートが得られる環境を備えていること ・救急車などが概ね2kmごとに到達できること 他
4. 情報発信	①誰もがどこでも容易に情報が得られる環境を備えていること ・ホームページなどで日英2か国語以上により情報発信をしていること 他
5. 取組体制	①官民連携によるサイクリング環境の水準維持等に必要な取組体制が確立されていること

■ ナショナルサイクルルートの指定手続き





4つの施策

9つの目指すべき目標

施策1 走行環境の整備

誰もが安全・快適に走行できるサイクリング環境

誰もが迷わずに走行できる環境

施策2 サイクリスト受入環境の整備

多様なサイクリストが快適に休憩できる環境

多様な交通手段の確保

サイクリストが安心して宿泊することができる環境

サイクリング中のトラブルに対応できる環境

地域の魅力を満喫し、地域振興に寄与する仕掛けづくり

施策3 情報発信の充実

誰もがどこでも容易に情報が得られる情報発信

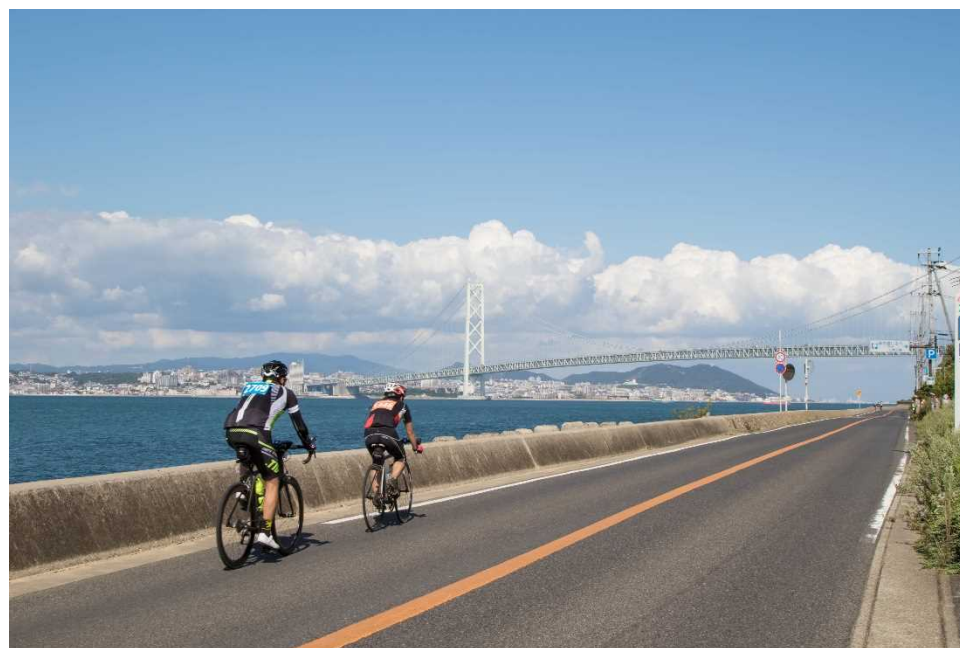
施策4 取組を推進していくための体制

関係者が連携して施策を推進していくための体制づくり



アワイチ推進に向けた50の施策を取りまとめ

施策 1 走行環境の整備





施策 1 走行環境の整備

【目標 1】誰もが安全・快適に走行できるサイクリング環境

継続

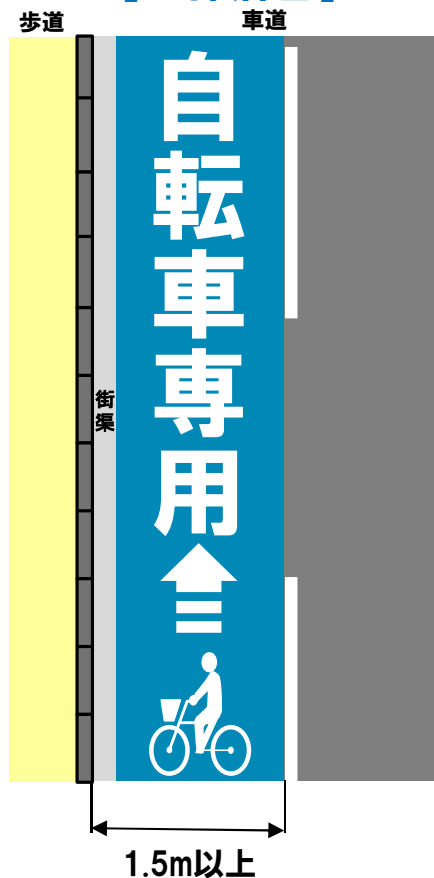
a) 自転車が安全・快適に走行可能な空間の確保

① 歩行者、自動車と分離された自転車通行空間（自転車道、自転車レーン）の整備

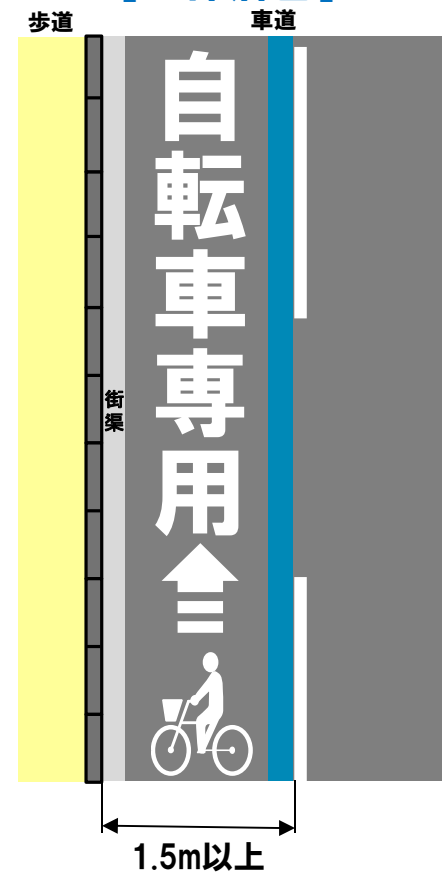


自転車レーン整備事例（三田市）
[一部着色]

[全部着色]



[一部着色]



実施箇所・内容



自転車ネットワーク計画（市策定）に基づいて整備

自転車と自動車を道路標示と路面表示により視覚的に分離



施策1 走行環境の整備

【目標1】誰もが安全・快適に走行できるサイクリング環境

継続

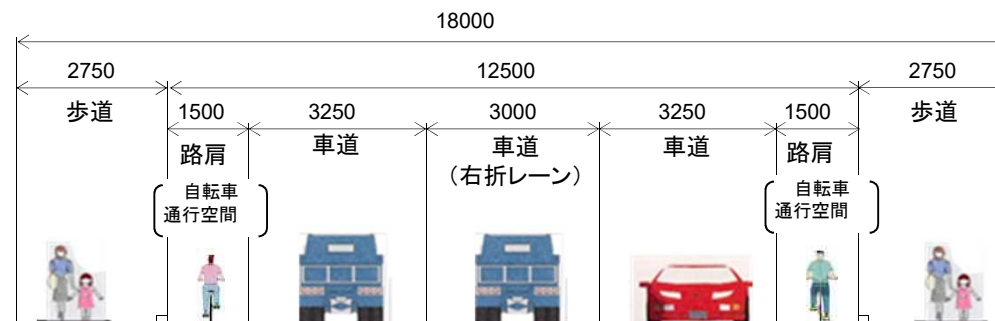
a) 自転車が安全・快適に走行可能な空間の確保

① 歩行者、自動車と分離された自転車通行空間（自転車道、自転車レーン）の整備

○ 主な自転車レーン整備箇所（県道福良江井岩屋線 南あわじ市湊、松帆）



計画断面図（交差点部）



自転車レーン

自転車レーン



現況写真



施策1 走行環境の整備

【目標1】誰もが安全・快適に走行できるサイクリング環境

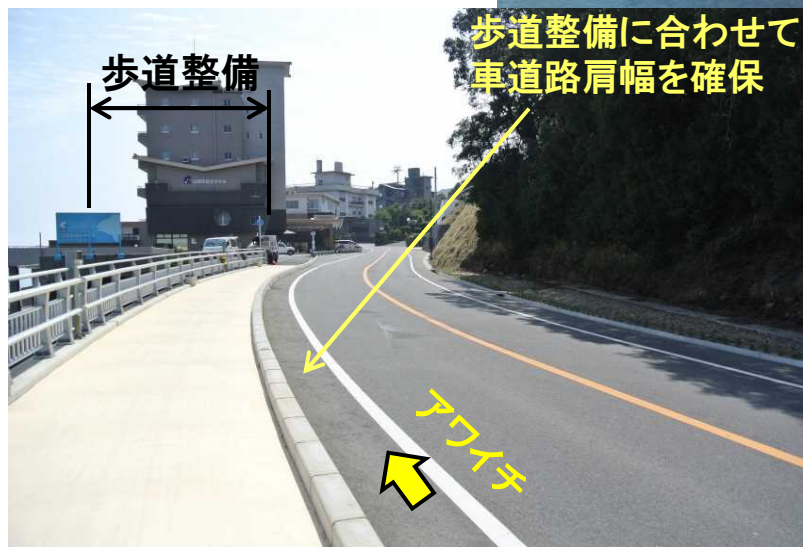
継続

a) 自転車が安全・快適に走行可能な空間の確保

② 道路改良や交通安全事業等に合わせた自転車通行空間の整備



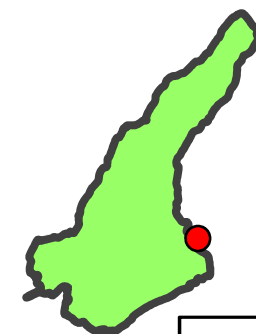
県道洲本灘賀集線(洲本市小路谷)



実施箇所・内容



改良事業、交通安全事業等の事業実施に合わせて整備





施策1 走行環境の整備

【目標1】誰もが安全・快適に走行できるサイクリング環境

拡充

a) 自転車が安全・快適に走行可能な空間の確保

③路肩の整備（側溝の蓋掛け、法起こし、拡幅）



県道洲本灘賀集線(洲本市由良町由良)

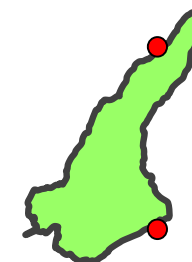


県道福良江井岩屋線(淡路市野島墓浦)

実施箇所・内容



幅員狭小箇所等、ルート診断結果やサイクリスト、地域住民警察等からの意見がある箇所で実施





施策1 走行環境の整備

【目標1】誰もが安全・快適に走行できるサイクリング環境

新規

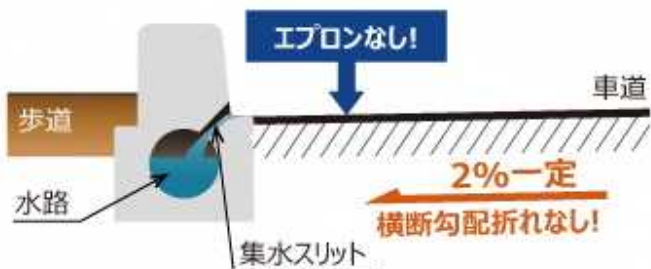
a) 自転車が安全・快適に走行可能な空間の確保

実施箇所・内容

④ エプロン幅の狭い街渠への取り替え、グレーチングの改良

◆ エプロン幅が狭い街渠(側溝)への取り替えの事例

街渠の修繕・更新にあわせて実施



ライン導水ブロック

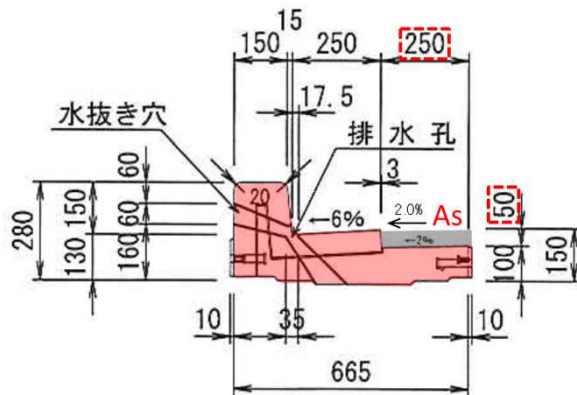
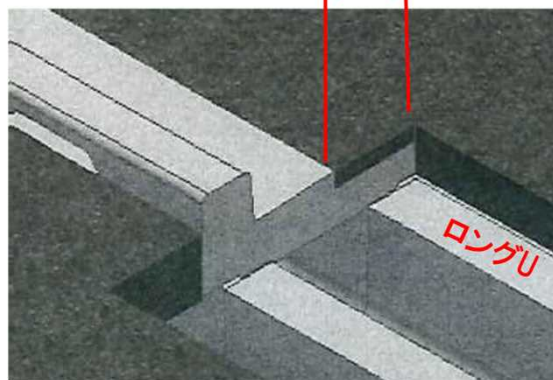


都市型側溝

◆ 一般的な街渠の自転車通行空間確保対策の事例

既存の側溝(ロングU)に交換対応可能なエプロン幅の狭い街渠

(兵庫県と兵庫県コンクリート製品協同組合が共同開発)



◆ グレーチングの改良の事例



グレーチング蓋の格子の形状を工夫した事例

資料:安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン



施策 1 走行環境の整備

【目標 1】誰もが安全・快適に走行できるサイクリング環境

拡充

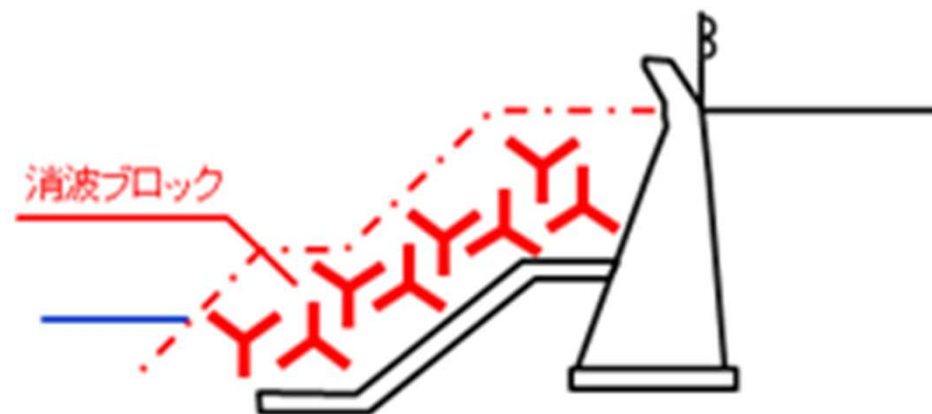
a) 自転車が安全・快適に走行可能な空間の確保

⑤越波対策の実施

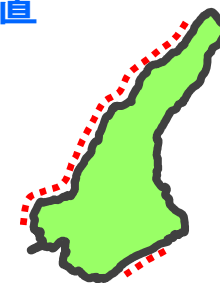
◆越波対策の事例



越波防止フェンス設置
(県道福良江井岩屋線 洲本市五色町鳥飼浦)



消波ブロック設置



実施箇所・内容



西側、南側の海岸沿いの区間（県道福良江井岩屋線、県道洲本灘賀集線）等
※ 眺望との両立に配慮



施策1 走行環境の整備

【目標1】誰もが安全・快適に走行できるサイクリング環境

拡充

b) 自転車通行空間の計画的な整備

① 自転車ネットワーク計画の策定・自転車ネットワーク計画に基づく計画的な自転車通行空間の整備

◆ 淡路市自転車ネットワーク計画 (H30年3月策定)



実施箇所・内容



淡路市（計画策定済）、洲本市（計画策定）、南あわじ市（計画策定）
整備：各道路管理者



施策1 走行環境の整備

【目標1】誰もが安全・快適に走行できるサイクリング環境

拡充

c) 併走や追い越しが可能な走行環境の整備

⑦ ゆっくりのんびりサイクルレーン（自転車ゆずりレーン）、自転車退避スペースの整備



県道福良江井岩屋線(洲本市五色町都志)

実施箇所・内容



護岸管理用通路や広い路肩部分を活用して整備



施策1 走行環境の整備

【目標1】誰もが安全・快適に走行できるサイクリング環境

d) 多様なレベルのサイクリストに対応した迂回ルート確保

⑧ ショートカットルートや急勾配区間等の回避が可能な迂回ルートの確保

拡充

6つのショートカットルート(案)

ショートカットルート



実施箇所・内容

走行環境整備、案内標識の設置



施策1 走行環境の整備

【目標1】誰もが安全・快適に走行できるサイクリング環境

e) 他地域のサイクリングルートとの連携ルートの整備

⑨ 大鳴門橋自転車道の整備



継続



大鳴門橋桁下空間(現況)

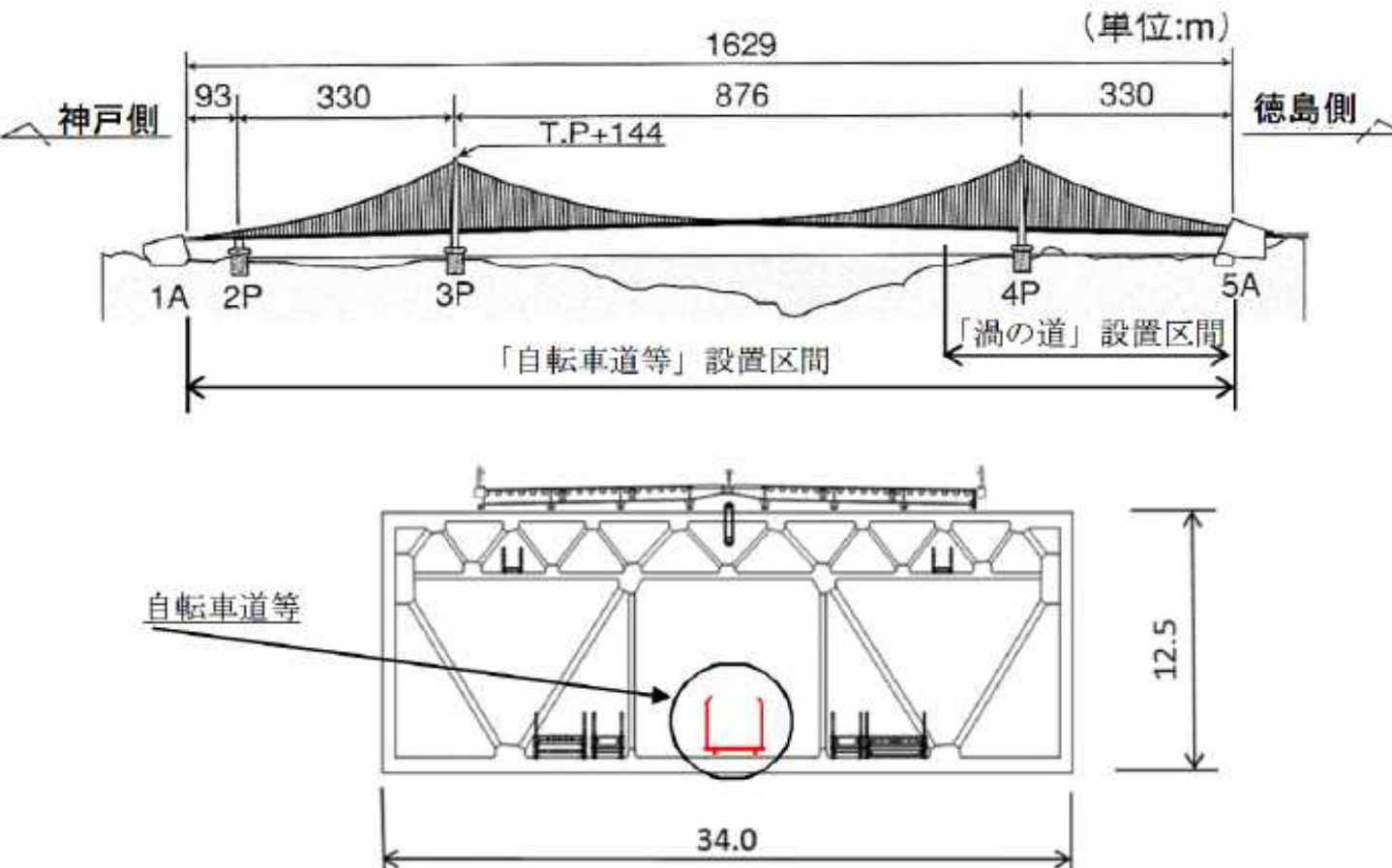
先進事例



原付・自転車

歩行者

(参考) 因島大橋の原自歩道



自転車道設置イメージ
(断面図)

実施箇所・内容



自転車道の実現に向け、検討・調査を推進
(平成30年度～、徳島県と共同)



施策1 走行環境の整備

【目標1】誰もが安全・快適に走行できるサイクリング環境

拡充

f) サイクリスト、自動車ドライバー双方への注意喚起

⑩危険箇所におけるサイクリスト・自動車ドライバーへの注意喚起看板の設置

◆サイクリスト向け注意喚起看板



県道洲本灘賀集線(洲本市相川組)



県道洲本灘賀集線(洲本市相川組)

実施箇所・内容



ルート診断結果やサイクリスト・地域住民・警察からの意見がある箇所に整備



施策1 走行環境の整備

新規

【目標1】誰もが安全・快適に走行できるサイクリング環境

f) サイクリスト、自動車ドライバー双方への注意喚起

⑪ 道路情報板を活用した自動車ドライバーに対する注意喚起の実施

◆ 道路情報板による注意喚起の実施事例



道路情報板を活用した注意喚起の事例
(自転車月間の啓発)
[県道洲本灘賀集線(洲本市由良町)]



道路情報板表示内容

実施箇所・内容

アワイチルート上の道路情報板
19基(国道8基、県道11基)
うちアワイチ順方向12基(国道6基、県道6基)



既存の道路情報板を活用した注意喚起の実施



施策1 走行環境の整備

新規

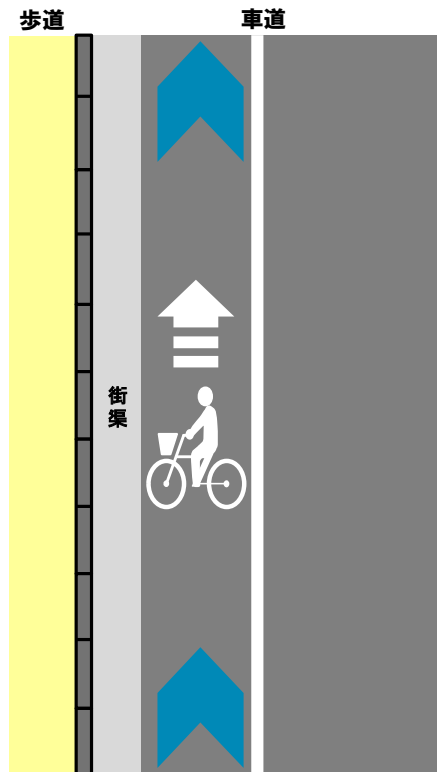
【目標1】誰もが安全・快適に走行できるサイクリング環境

f) サイクリスト、自動車ドライバー双方への注意喚起

⑫ 自転車の通行位置を示し、自動車ドライバーに注意喚起する矢羽根型路面表示の整備



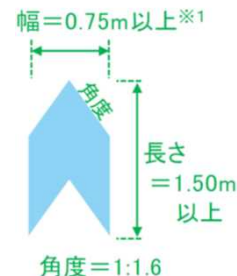
矢羽根型路面表示の整備事例
[県道多可柏原線(多可町)]



矢羽根型路面表示の標準的な設置



県道福良江井岩屋線(淡路市岩屋)



実施箇所・内容



自転車ネットワーク計画(市策定)に基づき整備



施策1 走行環境の整備

【目標1】誰もが安全・快適に走行できるサイクリング環境

継続

g) 良好なサイクリング環境を維持するための維持管理体制の確保

⑬安全な走行を確保するための道路パトロールの実施

⑭適切な維持管理の実施（路面清掃、補修の管理水準の設定）



道路パトロール



舗装損傷箇所の応急対策



施策1 走行環境の整備

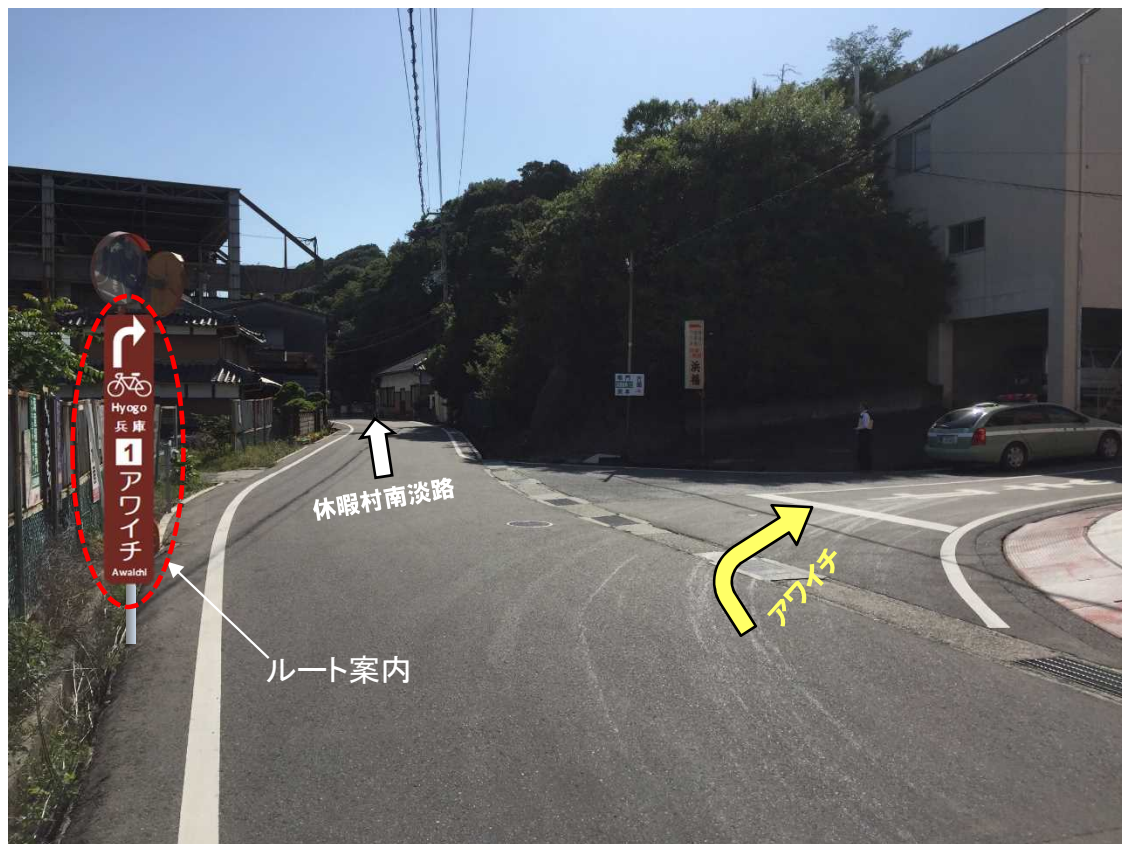
【目標2】誰もが迷わずに走行できる環境

新規

a) 多様なサイクリストが迷うことなく目的地まで行くことができる環境の整備

⑮交差点部・分岐部におけるルート案内標識・路面表示の設置

⑱海外のサイクリストでも認識可能な多言語対応の案内



標識タイプ整備イメージ
(南あわじ市福良、市道交差点)

実施箇所・内容

先進事例



資料: 鳥取県HP

路面表示タイプの設置事例



標識タイプ



路面表示タイプ

※レイアウトは調整中

※ 標識タイプは、既存の標識
柱に貼り付けるシートタイ
プも検討

ルート診断結果やサイクリスト・地域住民・警察からの意見があった箇所



施策1 走行環境の整備

【目標2】誰もが迷わずに走行できる環境

拡充

a) 多様なサイクリストが迷うことなく目的地まで行くことができる環境の整備

16 距離標の設置、単路部におけるルート標識・路面表示の設置

◆距離標

◆単路部ルート標識・路面表示



設置状況



距離標レイアウト



標識タイプ
貼付シートタイプ



路面表示タイプ

※レイアウトは調整中

実施箇所・内容



距離標：5km毎に設置、単路部ルート標識・路面表示：適宜



施策1 走行環境の整備

新規

【目標2】誰もが迷わずに走行できる環境

a) 多様なサイクリストが迷うことなく目的地まで行くことができる環境の整備

⑰ 主要な観光地、交通拠点、サイクリスト受入拠点等への案内標識・路面表示の設置

⑱ 海外のサイクリストでも認識可能な多言語対応の案内



標識タイプ整備イメージ



標識タイプ
貼付シートタイプ



路面表示タイプ

※レイアウトは調整中

実施箇所・内容

➡ サイクリスト受入拠点施設、主要観光施設、
サイクリスト・地域住民・警察等からの意見があった箇所



施策 1 走行環境の整備

新規

【目標 2】誰もが迷わずに走行できる環境

a) 多様なサイクリストが迷うことなく目的地まで行くことができる環境の整備

⑱統一したロゴマークの設定

先進事例



ビワイチのロゴマーク



太平洋岸自転車道のロゴマーク

実施箇所・内容



統一ロゴマークの作成、ルート案内・PR活動に活用

施策2 サイクリスト受入環境の整備





施策2 サイクリスト受入環境の整備

施策2-1 多様なサイクリストが快適に休憩できる環境の整備

拡充

a) サイクリストに必要な機能を有した休憩施設の整備

② 多様な交通手段に対応したサイクリスト受入拠点の整備

先進事例

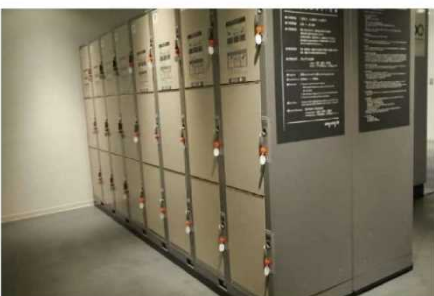
事例:「りんりんスクエア土浦」(JR土浦駅) (つくば霞ヶ浦りんりんロード)



周辺の観光情報や宿泊施設情報を提供



レンタサイクル



コインロッカー



屋内ラック・
宅配便ロッカー (荷物の発送・受取が可能)



シャワー室

第2回ナショナルサイクルルート制度検討小委員会資料

実施箇所・内容

➡ 施設の新設、建替・リニューアルにあわせて整備

島内事例

陸の港西淡



施設外観



レンタサイクル



整備・組み立てスペース

主な機能

- ・ 高速バス、コミュニティバス拠点
- ・ 大型駐車場 (無料)
- ・ トイレ、休憩所
- ・ 売店 (おみやげ販売)
- ・ 観光情報提供
- ・ 更衣室
- ・ コインロッカー



施策2 サイクリスト受入環境の整備

【目標3】多様なサイクリストが快適に休憩できる環境

新規

a) サイクリストに必要な機能を有した休憩施設の整備

① サイクリスト休憩施設の整備

先進事例

事例:十勝川温泉サイクルステーション(トカプチ400)

座って食事ができる
ベンチやテーブル

工具貸出し・空気入れ、
情報提供等

温泉施設



サイクルラック

【写真:北海道開発局】

第2回ナショナルサイクルルート制度検討小委員会資料

実施箇所・内容

施設の**新設**、**建替**・**リニューアル**にあわせて**整備**



県内事例

県内整備事例:道の駅 宿場町ひらふく



休憩施設外観



更衣室



コインロッカー



休憩施設屋内



道の駅 うずしお



道の駅 あわじ



施策2 サイクリスト受入環境の整備

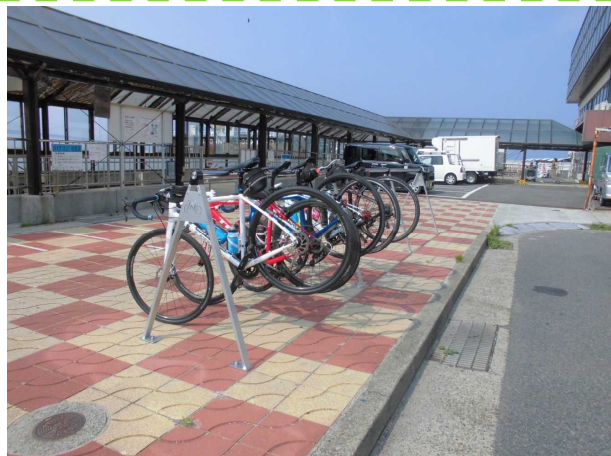
【目標3】多様なサイクリストが快適に休憩できる環境

拡充

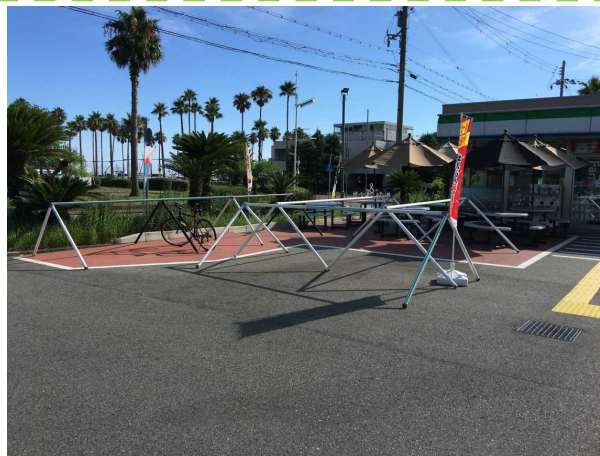
a) サイクリストに必要な機能を有した休憩施設の整備

② サイクルラックの設置

島内事例



岩屋港(淡路ジェノバライン乗り場前)



コンビニエンスストア(洲本市)



緑の道しるべ 角川公園
(福良江井岩屋線、洲本市五色町都志)



海産物点・飲食店(洲本市)

他地域の事例



道の駅 とうじょう
(加東市)



道の駅 お茶の京都 みなみやましろ村
(京都府南山城村)

実施箇所・内容



道の駅、簡易休憩所(緑の道しるべ)、観光施設、飲食店、カフェ、コンビニ等



施策2 サイクリスト受入環境の整備

【目標3】多様なサイクリストが快適に休憩できる環境

新規

a) サイクリストに必要な機能を有した休憩施設の整備

②③簡易な休憩や写真撮影、景観を楽しむための簡易休憩スポットの整備

島内事例



阿万福良湊線(南あわじ市福良丙)



国道28号(淡路市釜口)

実施箇所・内容



既存道路の広い路肩部等の道路用地を活用して整備



施策2 サイクリスト受入環境の整備

【目標3】多様なサイクリストが快適に休憩できる環境

新規 拡充

b) 誰もが気軽にサイクリングを楽しめる環境づくり

24 レンタサイクル施設の充実

25 乗り捨て可能なレンタサイクルシステムの構築

先進事例

(一社)しまなみJAPAN※のレンタサイクル

- 自転車の種類
クロスバイク、シティサイクル等
- レンタル料金
大人1日1000円、保証料1000円
- 乗り捨てシステム
13箇所のレンタサイクル箇所
+ 乗り捨て専用ポイント2箇所
で返却可能
- 乗り捨て料金
貸出箇所と別箇所に返却した場合、保証金を返却しない
- この他、ジャイアントストアでも尾道⇄今治での乗り捨てサービスを実施

※しまなみ海道沿道の尾道市、今治市、上島町を中心に構成された日本版DMO



しまなみJAPANのレンタサイクルターミナル

現状

淡路島内のスポーツサイクルのレンタル施設

料金(1日) :
 ロードバイク 5,000~8,000円
 クロスバイク 1,500~2,000円

※スポーツサイクルとは、ロードバイク、クロスバイク、マウンテンバイク(E-Bike含む)



・ルート途中での返却未対応

実施箇所・内容



ロードバイク、クロスバイク、子供用スポーツサイクルのレンタル施設の充実
モデルルート上で返却可能なレンタサイクルシステムの構築



施策2 サイクリスト受入環境の整備

【目標3】多様なサイクリストが快適に休憩できる環境

拡充

b) 誰もが気軽にサイクリングを楽しめる環境づくり

26 E-Bikeレンタサイクルの導入、E-Bike充電ステーションネットワークの構築

◆E-Bikeレンタサイクル

◆E-Bike充電ステーションネットワークのイメージ



洲本市内2箇所(洲本高速バスターミナル、ウェルネスパーク五色)でE-Bikeレンタル開始(社会実験、令和元年7月20日～)

実施箇所・内容



電動アシスト付スポーツ自転車のレンタル施設の充実
サイクリスト受入施設等でのバッテリー充電・交換



施策2 サイクリスト受入環境の整備

新規

【目標3】多様なサイクリストが快適に休憩できる環境

c) 安全・快適にサイクリングを楽しむことができる地域社会の形成

②7 自動車と自動車の道路での共存に向けた相互理解の促進（シェア・ザ・ロード、思いやり1.5m運動）

◆シェア・ザ・ロード、思いやり1.5m運動の取り組み（愛媛県発祥の活動）

先進事例



愛媛県



静岡県(伊豆半島)



沖縄県



新潟市



横浜市

○啓発運動



資料: 愛媛県HP



資料: 愛媛県HP

実施箇所・内容



自転車と自動車がお互いの立場を思いやり道路を安全に共有する活動の展開



施策2 サイクリスト受入環境の整備

【目標4】多様な交通手段の確保

拡充

新規

a) サイクリスト受入拠点（ゲートウェイ）までの自転車の輸送手段の確保

②⑧神戸・明石方面との自転車輸送手段の確保

②⑨泉州・和歌山方面との自転車輸送手段の確保

③⑩徳島・香川方面との自転車輸送手段の確保

③⑪主要駅、空港等から発着するサイクリングバス（自転車積載が可能なバス）の運行



淡路島 直行便 55分 南大阪

2019年4月27日(土)～10月27日(日)

土・日・祝日 限定運航 (お盆期間8/13～8/16含む)

洲本港 深日港

兵庫県洲本市 大阪府堺市



実施箇所・内容



自転車輸送手段の確保・充実（四国方面等）
既存交通手段の利用促進



施策2 サイクリスト受入環境の整備

【目標5】サイクリストが安心して宿泊することができる環境

拡充

a) サイクリストが求める機能を有する宿泊施設の確保

32 宿泊施設のサイクリスト受入体制の向上

先進事例

▼ WAKAYAMA800 (和歌山県)

- 自転車宿泊者のための設備が充実した「サイクリストに優しい宿」を認定し、来訪者の宿選択をフォロー



< 認定条件(下記全て必須) >

- 「自転車を組み立てた状態で、客室への持ち込みが可能」もしくは、「自転車を組み立てた状態で、一般客の立ち入らない施設可能な場所(バックヤードや倉庫・車庫等)で保管が可能」
- 「スポーツバイク対応の空気入れ」及び「修理工具」の貸出
- 手荷物一時預り(チェックイン前/チェックアウト後)
- 宅配便(自転車を含む)の受取・発送サービス



※認定者は和歌山県および和歌山県観光連盟

第1回ナショナルサイクルルート制度検討小委員会資料

⇒ 56施設を「サイクリストに優しい宿」として認定(R1.8.9現在)

実施箇所・内容

自転車の客室持込み(輪行袋含む)、フロント預かり、工具貸出、メンテナンススペースの提供等は可能な宿泊施設の充実

島内事例



淡路島海上ホテル A2 INN(屋内駐輪可能)



ペンション アマテラス(客室持込可能)



ホテル&リゾート 南淡路 (フロント預かり、輪行袋に収納すれば客室持込可能)



施策2 サイクリスト受入環境の整備

拡充

【目標6】サイクリング中のトラブルに対応できる環境

a) 悪天候や自転車の故障、体調不良等のトラブル発生時に対応できる体制の確保

33 工具や空気入れの無料貸し出し、チューブ等の補修部品、自転車用品の販売

34 自転車修理や出張修理サービスの提供

35 自転車回送サービス（サイクルタクシー等）の提供、路線バス・コミュニティバスへの自転車積載

先進事例

事例：しまなみ島走レスキュー（しまなみ海道）



- 自転車の修理やメンテナンスのサービス拠点を指定。
- 自転車の故障時等に、メンテナンスのサービス拠点まで自転車を搬送するタクシーサービスも実施。

【写真：シクロツーリズムしまなみ 公式サイト】

先進事例



看板(しまなみ)

のほり(ピワイチ)

- ・サイクルオアシス(しまなみ海道)
民宿・ガソリンスタンド・小売店・喫茶店等が休憩場所を提供
空気入れの貸出、給水、トイレの利用等が可能。
- ・サイクルサポートステーション(ピワイチ)
コンビニや道の駅、飲食店、ホテル等200ヵ所以上で展開。
施設ごとに空気入れ・工具の貸出等、様々なサービスを提供

島内事例

- ・自転車回収サービス※
淡路市内と洲本市の一部(1店舗)
南あわじ市内(1店舗)
- ・サイクルタクシー※
1社(専用キャリアで運搬)
- ・メンテナンス対応店※
淡路市(1店舗)
洲本市(無し)
南あわじ市(1店舗)
- ・空気入れ・工具の貸出
コンビニ45店舗で空気入れ・工具を貸し出し

※兵庫県洲本土木事務所調べ



店頭でのサイン



補修部品・自転車部品の自動販売機
(チューブ、パンク修理キット、タイヤレバー、補給食等)

第2回ナショナルサイクルルート制度検討小委員会資料

実施箇所・内容

サイクリング中のトラブル発生時の対応体制の強化



【目標7】地域の魅力を満喫し、地域振興に寄与する仕掛けづくり

継続

a) 新たな観光価値を創造し、サイクリストに地域の魅力を伝え、地域振興を図る

③⑥幅広いレベルのサイクリストを対象としたシンボルイベントの開催

「淡路島ロングライド150」の開催

1. 開催状況

平成22年度から毎年開催(9回開催)
開催時期は、9~10月
今年度(第10回)は、9月16日開催

2. コース概要

淡路島一周 : 約150km
スタート・ゴール地点 : 国営明石海峡公園
エイドステーション : 4箇所
※地元特産食材による振る舞い有り

3. 募集人数

2,300人
※遠方からの参加者(北海道、沖縄等)

4. 完走率

90~95%



実施箇所・内容



開催の継続 (国内屈指の人気イベントを目指して磨き上げ)



施策2 サイクリスト受入環境の整備

【目標7】地域の魅力を満喫し、地域振興に寄与する仕掛けづくり

新規

a) 新たな観光価値を創造し、サイクリストに地域の魅力を伝え、地域振興を図る

③7 飲食店、観光施設等と連携したサイクリスト向けサービスの実施

先進事例

サイクリストのためのご当地スイーツの開発 愛媛県今治市の「今治(パリ)プレスト」



資料: 今治市HP

- ・ 地域ブランド化戦略の一環で自転車の車輪をイメージしたご当地スイーツを開発。
- ・ フランスのサイクリングイベント「パリ・プレスト・パリ」の開催を記念して作られたお菓子「パリ・プレスト」を元に考案。
- ・ 地元産食材を使用し、各店舗それぞれ独創的な商品を展開。

ご当地グルメとサイクリングによる地域振興 岡山県備前市日生町の「カキオコ」



資料: 日生カキオコまちづくりの会HP



資料: 臨時漕会



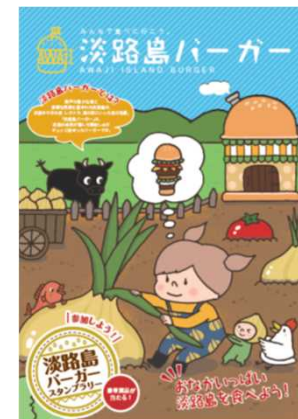
資料: 備前観光協会HP

- ・ 岡山県備前市日生町のB級ご当地グルメ、牡蠣が入ったお好み焼き
- ・ 漁港付近の密集市街地に15店が立地
- ・ 駐車場が少ないことが課題だが、近年、サイクリストの間で冬の牡蠣シーズンの「カキオコサイクリング」が人気となっている。

島内の取り組み(ご当地グルメ)

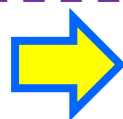


資料「淡路島の生しらす2019」JHP



- ・ 生しらす、淡路島牛丼、淡路島バーガー、生サワラ丼等の地元食材を使用したご当地グルメを開発。
- ・ サイクリストに特化した対応は未実施

実施箇所・内容



飲食店・観光施設との連携（サイクリスト向けメニュー、サービスプラン等の開発）
サイクリスト向けのPR活動の展開



【目標7】地域の魅力を満喫し、地域振興に寄与する仕掛けづくり

新規

a) 新たな観光価値を創造し、サイクリストに地域の魅力を伝え、地域振興を図る

③⑧地域の魅力を紹介するツアーガイド付きのサイクリングツアーの実施

サイクルツーリズムにおける観光 ➡ サイクリストにとっては、自転車で走ること・楽しむことそのものが観光

先進事例

民間事業者(株)ライダスによるサイクリングツアー

- 日本の地方に点在する地域の特色にスポットライトを当てたツアーに着目。
- 地方に点在する魅力をフィーチャーするサイクリングツアーを企画。
- 経験を積んだ日本サイクリング協会公認のガイドが先導してアテンド。
- 京都周辺、岐阜・長野の旧中山道、琵琶湖、しまなみ海道等でツアーを開催。



資料: (株)ライダス

実施箇所・内容



サイクリングツアーの開発、民間事業者との連携



施策2 サイクリスト受入環境の整備

【目標7】地域の魅力を満喫し、地域振興に寄与する仕掛けづくり

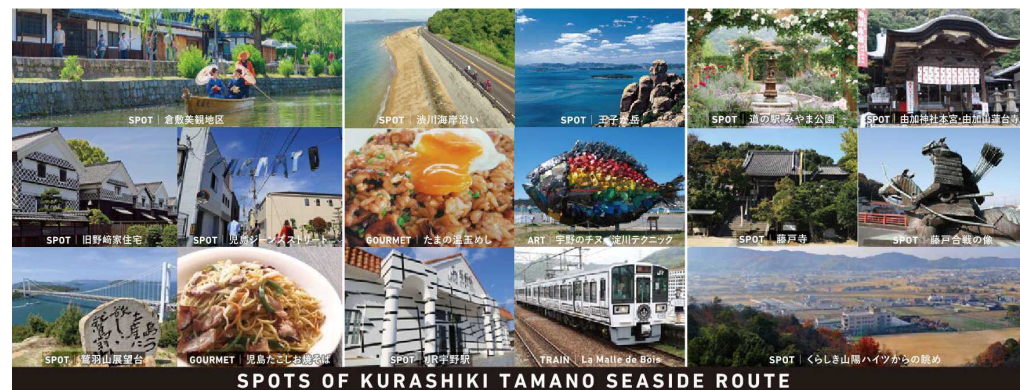
新規

a) 新たな観光価値を創造し、サイクリストに地域の魅力を伝え、地域振興を図る

39 地域の魅力を楽しむことができるセルフガイドツアー用のマップ、ガイドブックの発行

先進事例

◆「ハレいろ・サイクリング・OKAYAMA」ルートマップ



KURASHIKI/KOJIMA AREA START - 40km 倉敷/児島エリア	TAMANO / UENO AREA 45km - 55km 玉野/宇野エリア	YUGASAN / FUJITA AREA 70km - GOAL 由加山/藤戸エリア
<p>① SPOT 倉敷美観地区 白壁となごきをはじめとする伝統的な日本建築の美しさを見られるエリア。このエリアでは、世界的名画を収蔵している大原美術館をはじめ、民芸館、考古館、郷土玩具館など、多くの文化施設がある。</p> <p>② SPOT 旧野崎家住宅 江戸後期に製塩業で財を成した野崎武左衛門が建築した屋敷。無料でじっくり体験(要予約)も可能。</p> <p>③ SPOT 葦原山展望台 瀬戸内海国立公園唯一の展望地で、のどかな瀬戸内海に点在する島々の多島美と瀬戸大橋の全容を見ることが出来る。</p>	<p>④ SPOT 流川海岸沿い 目の前に広がる瀬戸内海と多島美の風景を眺めながら海岸線を走行できるおすすめスポット。</p> <p>⑤ SPOT 王子が島 頂上の王子が島パークセンターからの眺望。瀬戸、四国連山の展望は一種の絶景を見るよ。</p> <p>⑥ GOURMET たまの温玉めし 玉野市名産のふくらみ穴子をヘルシーな雑穀ご飯に混ぜ込み、甘いいりや練麩のタレで炒めてご当地グルメ。</p> <p>⑦ SPOT JR宇野駅 JR宇野みさと線アートプロジェクトによる列車に合わせたデザインの新車は見もの。</p> <p>⑧ TRAIN La Malle de Bois サイクリング自転車などを組み立てた状態で搭載することが可能なスペースを車内に設置。</p>	<p>⑨ SPOT 道の駅みやま公園 公園内には100種類を超える花や木など自然がいっぱいの「散策ゾーン」や「プレイゾーン」(イギリス庭園)など見所満載。</p> <p>⑩ SPOT 藤戸寺 源平両軍の戦死者と佐々木盛綱が刺した漁夫の霊を祀るため、大法要を営んだと語り継がれている。</p> <p>⑪ SPOT 藤戸合戦の像 源平合戦の激戦地。地元の漁夫を殺して戦勝を祝った佐々木盛綱のエピソードがある。</p> <p>⑫ SPOT くらしき山階ハイツからの眺め 田園地帯の静かな小高い丘の上にあり、四季折々の草花が咲き、訪れる人々の心を和ませてくれる。喫茶コーナーからは、かつて「藤戸合戦」があったとされる一帯を臨むことが出来る。</p>

資料: 岡山県HP

・ レストラン・カフェ、観光スポットなどの情報を盛り込んだマップを基にサイクリストが自分のペースで走り、自由に観光スポットを巡り、好きな場所で食事や休憩をとりながらサイクリングを楽しむことを提案

実施箇所・内容



関係機関、観光施設、民間事業者等と連携し、セルフガイドツアー用のマップ、ガイドブックを発行



施策2 サイクリスト受入環境の整備

新規

【目標7】地域の魅力を満喫し、地域振興に寄与する仕掛けづくり

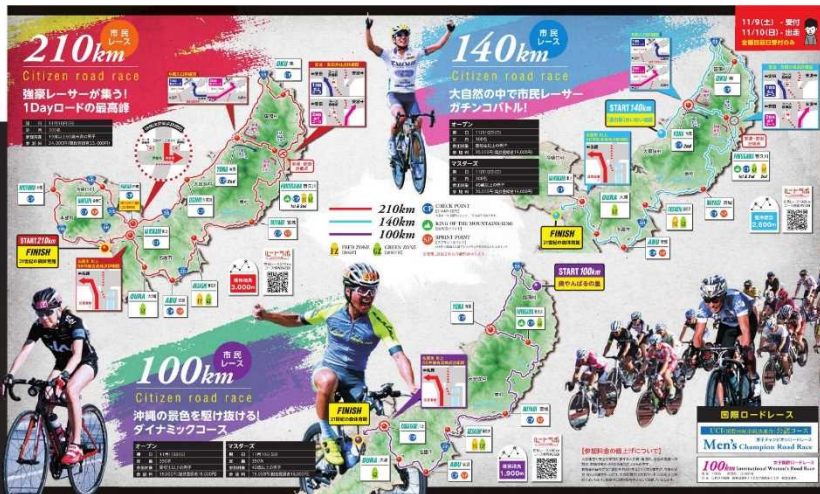
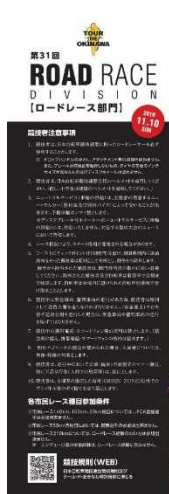
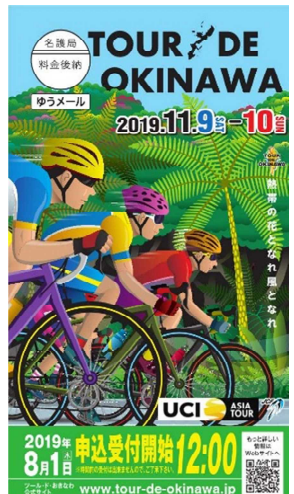
a) 新たな観光価値を創造し、サイクリストに地域の魅力を伝え、地域振興を図る

④モデルルートの一部を活用したロードレースの誘致

先進事例

ツール・ド・おきなわ

- 日本最大級のロードレースイベント。毎年11月に沖縄本島北部で2日間にわたり開催
- 観光地の特性を活かして、レースだけでなく、様々なイベントを組み合わせて実施
- エントリー数は、関連イベントを含め、5044人(2018年)
- 海外からの参加比率は約15%



チャレンジレース 50km アンダー-39 男子 11月10日(日) 実質 200名 参加費 4000円(含み) 1,000円(含み) 申込費 15,000円 フォーター(40s) 男子 11月10日(日) 実質 200名 参加費 4000円(含み) 1,000円(含み) 申込費 15,000円 オーバー-50 男子 11月10日(日) 実質 200名 参加費 4000円(含み) 1,000円(含み) 申込費 15,000円	市民レース 50km オープン 男子 11月10日(日) 実質 200名 参加費 4000円(含み) 1,000円(含み) 申込費 15,000円 フォーター(40s) 男子 11月10日(日) 実質 200名 参加費 4000円(含み) 1,000円(含み) 申込費 15,000円 フォーター(50s) 男子 11月10日(日) 実質 200名 参加費 4000円(含み) 1,000円(含み) 申込費 15,000円 オーバー-60 男子 11月10日(日) 実質 200名 参加費 4000円(含み) 1,000円(含み) 申込費 15,000円 市民レディースレース 50km 女子 11月10日(日) 実質 200名 参加費 4000円(含み) 1,000円(含み) 申込費 15,000円 中学生レース 50km 男子 11月10日(日) 実質 100名 参加費 4000円(含み) 1,000円(含み) 申込費 6,000円 小学生レース 10km 男子 11月10日(日) 実質 100名 参加費 4000円(含み) 1,000円(含み) 申込費 4,000円
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ツール・ド・くまの

- 世界遺産の熊野古道を舞台に、5月下旬から6月上旬に4日間で開催されるロードレース
- 熊野川支流の赤木川、熊野山道、太地を舞台に4日間開催
- UCI (国際自転車競技連合) の公認レースとなり、国内有数のレースイベントに発展
- 観戦者やレース参加者を含め1日あたり1000人ほどが来訪。熊野地域の交流人口の拡大や経済効果をもたらしている。



資料：ツール・ド・おきなわ2019HP

資料：ツール・ド・くまのHP

実施箇所・内容



自転車競技団体(自転車競技連盟等)への働きかけ、支援

施策3 情報発信の充実





施策3 情報発信の充実

新規

【目標8】誰もがどこでも容易に情報が得られる情報発信

a) 多様なサイクリストのニーズに対応する情報発信の充実

- ④1 サイクリスト向け総合情報サイト（ホームページ）の開設
- ④3 多言語対応した情報発信

先進事例

四国一周1000kmルート

四国一周サイクリングルート (Googleマップ)

グッズ販売 (有料) について

資料: 四国一周サイクリングHP

- サイクリストのニーズ(宿泊、サポート、観光等)に応えるオールインワン型のポータルサイトを構築し、情報を発信
- 4カ国語(日・英・中・韓)に対応

びわイチ

資料: びわ湖一周サイクリング 輪の国びわ湖HP

- 基本的な情報に加え、最新の道路情報等のニュースや関連サイト、SNSの情報(公式フェイスブック)もまとめられている

ハマイチ

資料: ハマイチWEB 浜名湖一周サイクリングHP

- 基本的な情報の提供、最新のニュース、SNSの情報を発信
- プレス向けに広告写真データを提供
- 3カ国語(日・英・中)に対応

現状

資料: 兵庫県HP

サポート情報

資料: あわじロードバイクサポーターズHP

- サイクリストの求める情報の一元化が課題

実施箇所・内容



サイクリストに必要な情報をオールイン型のサイトを提供
多言語化対応したホームページによる情報発信



施策3 情報発信の充実

拡充

【目標8】誰もがどこでも容易に情報が得られる情報発信

a) 多様なサイクリストのニーズに対応する情報発信の充実

④2 ルートマップ、パンフレット、SNSの活用による情報発信

④3 多言語対応した情報発信

取組状況



・「淡路島サイクリングマップ」英語版を平成30年8月に発行

実施箇所・内容



ルートマップ、パンフレット、SNSの活用による情報発信の充実、多言語対応

先進事例 小豆島一周サイクリングマップ(香川県)



資料：香川県観光協会HP

・日本語、英語、韓国語、広東語(香港)、中国語(台湾)の5言語に対応したマップを作成



新規

【目標8】誰もがどこでも容易に情報が得られる情報発信

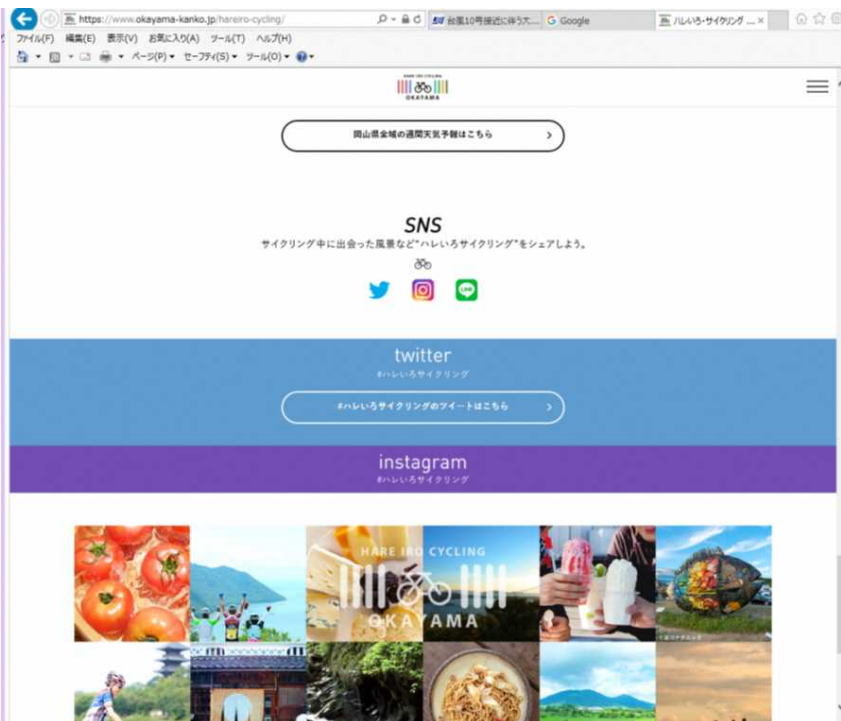
a) 多様なサイクリストのニーズに対応する情報発信の充実

④2 ルートマップ、パンフレット、SNSの活用による情報発信

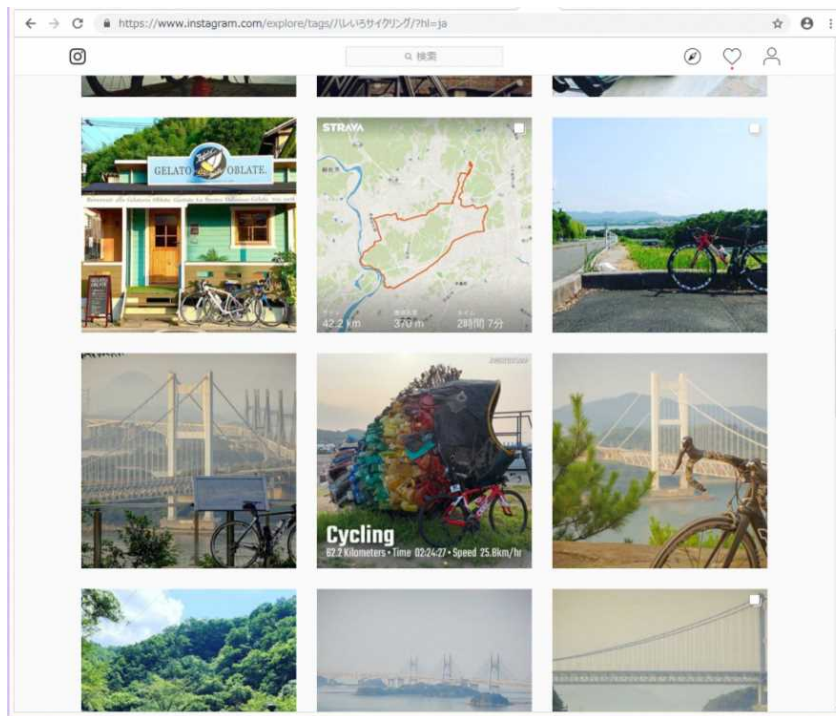
先進事例

◆総合情報サイトとSNSの連携による情報発信

「ハレいろ・サイクリング OKAYAMA」ホームページ



「ハレいろ・サイクリング OKAYAMA」のホームページ
(ルート情報を提供)



Instagram「#ハレいろ・サイクリング」をつけて投稿された写真

資料: 岡山県HP

- ・ 県内6つのサイクリングルートを紹介した**ホームページとSNSを連携する仕組みを構築**
- ・ 「ハレいろ・サイクリング」のハッシュタグをつけてサイクリストが**サイクリング中に撮影した風景写真など情報発信**

実施箇所・内容



ルートマップ、パンフレット、SNSの活用による情報発信の充実、多言語対応



【目標8】誰もがどこでも容易に情報が得られる情報発信

拡充

b) 積極的なPR活動

④ 他のサイクリングルートと連携したイベントの実施、共同PR活動の実施

取組事例

◆「ピワイチ」との連携



ピワイチ・アワイチ連携PRポスター

- 平成30年9月より、両ルートの連携による魅力発信と両ルートのサイクリスト相互の交流を目的に共同連携を開始
- PRチラシ、PRポスターを作成し、サイクリングイベント等で共同PRを実施



共同連携PRのプレス発表
(H30.9.19)

◆西日本4地区連携周遊スタンプラリーの開催



- 「アワイチ」、「瀬戸内しまなみ海道」、「ピワイチ」、「泉州・和歌山」の4つのサイクリングルートが共同でスマホアプリによるデジタルスタンプラリーを開催
(令和元年7月1日～9月30日)

実施箇所・内容



連携を継続、強化



施策3 情報発信の充実

【目標8】誰もがどこでも容易に情報が得られる情報発信

継続

新規

b) 積極的なPR活動

- ④5 自転車関係イベント、会議等への出展・PR活動の実施
- ④6 新聞、テレビ等のメディアへの積極的なPR活動の実施

取組状況

◆「自転車利用環境向上会議」でのPR活動、交流・情報交換

第7回 The 7th Japan Cycling Congress in Sakai City
自転車利用環境向上会議 in SAKAI
 10/26-27 (金)(土)
 会場 堺市産業振興センター
 大塚山公園(自転車展示場) 下田 南塚公園(展示場) 平野公園(展示場) 下田

概要
 自転車利用環境向上会議は、全国的に自転車利用環境への関心が高まり、全国の行政関係者や警察、NPO等の相互の情報共有や、自転車利用環境の整備を促進するための課題や解決策を話し合うことを目的に、安全で快適な自転車利用環境の創出に向けた様々な意見を交換する場として注目されている全国会議です。
 平成30年は、国による自転車活用推進法の計画が策定されたことから、「自転車のまちづくり」を全国に向け発信する絶好の機会であることから、自転車利用環境のさらなる向上にむけて一層機運が高まる本年、自転車利用環境向上会議を堺市で開催します。

会議テーマ
“自転車を活かして健康なまちづくり”
 (分科会) 地方版自転車活用推進計画、通行環境、安全、教育、サイクルツーリズム、自転車と健康

開催プログラム
 10月26日(金) 1日目 午後: 基調講演・ポスターセッション・討論会
 10月27日(土) 2日目 午前: テーマ毎の分科会
 午後: 現地視察・散策体験(協力:堺 自転車のまちづくり・市民の会)

お問い合わせ
 〒590-0078 堺市堺区南瓦町3-1 堺市建設局 自転車まちづくり部
 TEL 072-228-0294 モしくは 072-228-7656
 FAX 072-228-0220 メール jisei@city.sakai.lg.jp
 H P http://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/doro/jitensha/index.html

資料: 自転車利用環境向上会議WEBサイト

『サイクリングアイランド淡路』の取組み
 1. 淡路島のサイクリングの魅力
 2. アワイチ(淡路島一周サイクリングコース)の概要
 3. これまでの取り組み
 4. 今後の取り組み

第7回(平成30年度)出展ポスター

- ・ 全国の研究者、行政関係者、警察、民間企業、NPO等の相互の情報共有や、自転車通行空間整備やサイクルツーリズム振興、交通安全教育の普及等を推進する上での課題や解決策について、意見交換することを目的とした全国会議



ポスターセッション会場での交流・情報交換の状況



施策4 取組を推進していくための体制づくり





施策4 取組を推進していくための体制

【目標9】関係者が連携して施策を推進していくための体制づくり

継続

a) 継続して取り組みを推進し、サイクリング環境を維持していく体制づくり

④7 モデルルート推進協議会の定期開催

取組状況

淡路地域におけるサイクルツーリズムを推進するため、ソフト・ハード事業の検討や調整を行うとともに、関係者が連携して取り組むための組織を設立

「淡路地域モデルルート推進協議会」(平成31年3月29日設置)

◆構成委員(19名)

- ・道路関係
国土交通省、兵庫県、島内3市
- ・交通安全関係
島内3警察署、交通安全協会
- ・観光関係
兵庫県、島内3市、淡路島観光協会
- ・交通関係
淡路交通(株)、本四海峡バス(株)、(株)淡路ジェノバライン
- ・サイクリスト団体
淡路島自転車推進協議会



第1回協議会(令和元年6月5日)開催状況

実施箇所・内容



官民が連携し、一体的に協議・検討・議論、年1回以上の定期開催



施策4-1 関係者が連携して施策を推進していくための体制づくり

継続

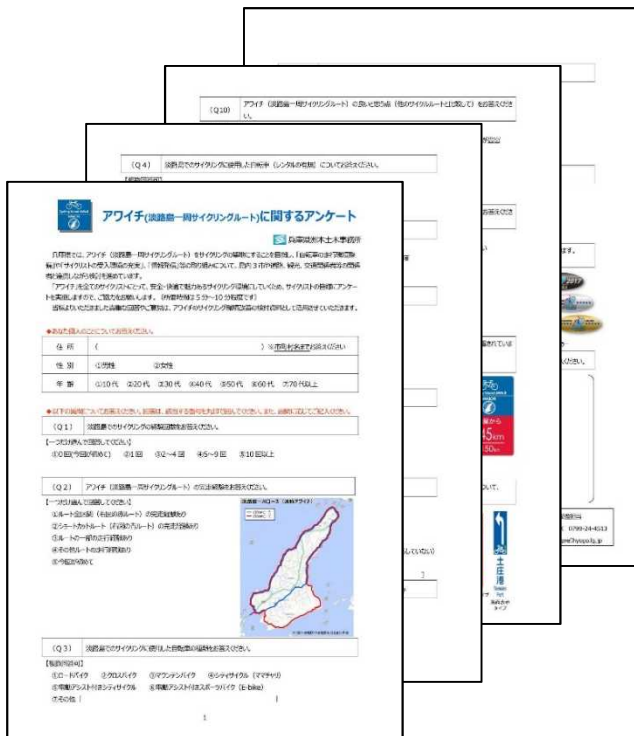
b) サイクリストのニーズ把握、利用実態の把握

④8 サイクリストへのアンケート調査の実施

④9 ルートの利用実態を把握するための自転車通行台数の観測

取組状況

◆サイクリストへのアンケート調査の実施



サイクリストアンケート調査票

- サイクリストカフェ等の協力を得ながら、サイクリストのニーズの把握、意見を反映する仕組みを構築
- 「淡路島ロングライド150」参加者に対しても、連携してアンケートを実施

◆自転車通行台数の観測



自転車通行台数の観測箇所

- サイクリストの利用実態を把握し、適切な対応を行うため、島内2箇所で見測を実施
- 計測箇所: 2箇所
- 常時観測



観測機器の設置状況

実施箇所・内容



調査の継続



施策4 取組を推進していくための体制

施策4-1 関係者が連携して施策を推進していくための体制づくり

新規

c) 研究・教育機関との連携

⑤0 研究・教育機関と連携した取り組みの推進

淡路景観園芸学校

兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科(専門職) との連携



兵庫県立大学大学院
緑環境景観マネジメント研究科
Landscape Design and Management

未来を見つけない人、ここにしかない学び

全国初の緑環境に関する専門職大学院として平成21年4月に開設。
緑環境景観に関する施策や活用ビジネス、保全管理等に関する調査・
研究を実施。

実施箇所・内容



景観資源を活用したサイクルツーリズム等について、連携して調査・研究を実施